Littelfuse®

サプライヤー行動規範

2025年2月更新

3 目的
4 範囲
4 責任
4 方針
5 手順
5 労働
9 安全衛生
11 環境
14 倫理
18 管理システム
21 リテルヒューズ倫理ヘルプライン

目的

リテルヒューズでは、事業を誠実に遂行し、高品質なサービスをお客様に対して提供し、また社員、株主、そして私たちが生活を送り、事業を営む地域社会との相互利益に対して貢献を行うことを約束します。

お客様は、最高の品質およびパフォーマンスの信頼性に対する期待があるので、世界で最も繊細なアプリケーションの保護、制御および検知としてリテルヒューズの製品を選んでいます。弊社では、優れた中核的価値を提供することによって、お客様からの信頼を得るよう努めています：

- 尊重
- 顧客中心
- 機敏性
- 協力

リテルヒューズが最高水準の社会的、環境的責任および倫理的行動に取り組んでいるのと同様に、弊社では、ビジネスパートナーに対しても同様の要件を要求します。リテルヒューズのサプライヤー行動規範（以下「本規範」）とは、リテルヒューズと取引を行う際にサプライヤーが満たすべき最低限の法的および倫理的基準をまとめたものになります。

弊社が、お客様およびサプライヤーと関係を築くことを目指す基盤となるのが誠実さです。誠実、公正な誓約および高い論理的行動がなければ弊社のその他の価値を維持することはできません。

範囲

この方針は、リテルヒューズに対して、商品またはサービスを提供する世界中の全てのサプライヤー、ベンダー、請負業者、販売業者、および代理店に適用されます。弊社のサプライヤーには、本規範に規定された要件を自社のサプライチェーンにも適用し、リテルヒューズとの契約上の義務を果たすために信頼するサブサプライヤーおよび第三者に対しても本規範に記載された法的および倫理的基準を遵守するものとします。

責任

法務チームは、サプライチェーンチームと連携して、本方針を維持、執行、伝達する責任を負います。

方針

リテルヒューズのサプライヤー行動規範は、弊社がサービスを提供する各事業分野のお客様によって確立された高水準に築かれ、レスポンシブル・ビジネス・アライアンス(RBA)行動規範に基づいています。基準と法的要件の間に相違が生じた場合、適用される法律に従い、より厳格な基準が適用されるものとします。

リテルヒューズのサプライヤー行動規範は、RBA 行動規範と同様5つのセクションに分かれています：

- 労働
- 安全衛生
- 環境
- 倫理
- 管理システム

さらに、サプライヤーが法律、規制、または方針に違反する懸念がある場合、倫理ヘルプラインに連絡し、報告する指示も含まれています。

労働
安全衛生
環境
倫理
管理システム
リテルヒューズ倫理ヘルプライン

手順

労働

リテルヒューズのサプライヤーは、従業員の人権を保護し、尊厳および尊敬をもって扱うものとします。これは、派遣社員、移民、学生、契約社員、直接雇用の従業員およびその他の雇用形態を含む、全ての労働者に適用されます。弊社では、以下の労働および人権に関する具体的な指針を支持します：

雇用選択の自由

強制労働、拘束労働（債務による拘束を含む）または契約労働、非自発的な囚人労働、奴隷労働、人身売買を使用してはなりません。これには、労働や役務のために、脅迫、強制、強要、拉致、詐欺の手法を用いた人の輸送、収容、募集、移送、または人の受け入れも含まれます。

会社が提供する施設に出入りする際の不合理な制限に加え、施設内での労働者の移動の自由を不合理に制限してはなりません。雇用プロセスの一環として、労働者が出身国を出発する前に、母国語にて雇用条件を記載した雇用契約書を労働者に提供しなくてはなりません。

全ての労働は自発的なものでなければならず、労働者はいつでも自由に離職し、または雇用を終了することができます。雇用主および代理業者は、法律で義務付けられている場合を除き、政府発行の身分証明書、パ スポート、労働許可証等、従業員の身分証明書や出入国書類を保持、破棄、隠匿、没収、 閲覧の拒否を行ってはなりません。

労働者は、雇用主または斡旋業者に対して採用手数料、または雇用に関連するその他の手数料を支払うことを義務付けてはなりません。当該手数料が労働者によって支払われた事実が発覚した場合、当該手数料は労働者に返済されるものとします。

労働
安全衛生
環境
倫理
管理システム
リテルヒューズ倫理ヘルプライン

若年労働者 – 児童就労

児童労働は製造のいかなる過程においても禁止されています。「児童」とは、15歳未満、または義務教育修了年齢未満、もしくはその国での最低雇用年齢のいずれか最も高い年齢未満の者を指します。

全ての法令に準拠した合法的な職場学習プログラムの利用を支援します。18歳未満の労働者（若年労働者）は、健康や安全を脅かす可能性のある業務を行ってはなりません。また、18歳未満の労働者は、法律で認められている場合を除き、夜勤や残業をしてなりません。

サプライヤーは、教育パートナーの厳格な適正評価、適用される法令に準拠した学生の権利の保護を通じて、学生労働者の適切な管理を確保するものとします。サプライヤーは、全ての学生労働者に適切な支援と研修を提供するものとします。

現地の法律がない場合、学生労働者、実習生、見習いの賃金率は、同等または類似の業務 を遂行する他の新人労働者と少なくとも同じ賃金率とするものとします。

賃金および手当

労働者に支払われる報酬は、最低賃金、残業時間、法的に義務付けられた手当に関連するもの含め、適用される全ての賃金法を遵守しなければなりません。現地の法律に従い、時間外労働に対しては、通常の時間給を上回る賃金を補償するものとします。懲戒処分として、賃金から控除することは認めらません。各給与期間について、労働者には、労働に対する報酬を明確に確認できる十分な情報が記載された、適時かつ理解しやすい給与明細書または給与票が提供されなければなりません。派遣労働、臨時労働、および外部委託労働の全ての使用においては、現地の法律の範囲内で行うものとします。

労働時間

ビジネス手法に関する研究では、労働者の負担が生産性の低下、離職率の上昇、傷害や疾病の増加につながることが明らかにされています。労働時間は、現地の法律で定められた上限を超えてはなりません。また、1週間の労働時間は、緊急時または特殊な状況を除き、時間外労働を含めて週60時間を超えてはなりません。労働者に対して、少なくとも7日に1日の休日を設けなくてはなりません。

労働
安全衛生
環境
倫理
管理システム
リテルヒューズ倫理ヘルプライン

人道的な扱い

労働者に対するセクシャルハラスメント、性的虐待、体罰、精神的または肉体的な強制、暴言等、過酷または非人道的な行為をしてはならなく、またそのような扱いを受ける恐れがあってはなりません。これらの要件を支援して懲戒方針および手順を明確に定義し、労働者に伝達するものとします。

無差別

サプライヤーは、ハラスメントや違法な差別のない労働力の確保に努めなければなりません。会社は、賃金、昇進、報奨、研修への参加など、採用および雇用慣行において、人種、肌の色、年齢、性別、性的指向、性自認および表現、民族性または国籍、障害、妊娠、宗教、政治的思想、組合への加入、退役軍人の地位、保護されるべき遺伝情報、または婚姻関係に基づく差別を行ってはなりません。

労働者には、宗教的慣習に対する合理的な宿泊施設を提供しなくてはなりません。

さらに、法律で認められている場合を除き、労働者または労働の見込みのある者は、差別的に使用される可能性のある医学的検査や身体検査を受けてはなりません。

結社の自由および団体交渉の権利

現地の法律に従い、サプライヤーは、全ての労働者が自ら選択した労働組合を結成および加入し、団体交渉を行い、平穏な集会に参加する権利を尊重するとともに、そのような活動を控える労働者の権利も尊重するものとします。労働者および/またはその代表者は、差別、報復、脅迫、またはハラスメントを恐れることなく、労働条件や経営慣行に関して管理者と率直に意見を交換し、懸念を共有することができるものとします。

労働
安全衛生
環境
倫理
管理システム
リテルヒューズ倫理ヘルプライン

暴力的警備部隊の使用禁止

治安部隊が人権を侵害、負傷や死亡につながる恐れのある過剰な力を行使、または結社の自由を妨害している疑い、あるいはそれが発覚した場合、サプライヤーは、従業員または事業資産を保護するために（公的または私的）警備隊を使用してはなりません。

原材料調達の責任

サプライヤーは、製造する製品に含まれるタンタル、スズ、タングステン、金、コバルトが、経済協力開発機構（OECD）の「紛争地域および高リスク地域からの鉱物に対するサプライチェーンの責任に関するガイダンス」、または同等あるは認められているフレームワークに概説されているベストプラクティスに沿って入手されていることを合理的に保証する方針がなくてはなりません。サプライヤーは、これらの鉱物の原産地と加工・流通過程の管理に関して適正評価を行い、要求に応じて適正評価方法をお客様に提供するものとします。

ガイダンスの詳細については、弊社の「責任ある鉱物調達に関する声明」を参照すること。

労働
安全衛生
環境
倫理
管理システム
リテルヒューズ倫理ヘルプライン

安全衛生

リテルヒューズのサプライヤーは、安全かつ健康的な職場環境を提供するものとします。業務上の負傷や疾病の発生を最小限に抑えるだけでなく、安全で健康的な職場環境は、製品やサービスの品質向上、生産の一貫性、および労働者の定着率および気力を高めます。職場の安全衛生問題を特定し、解決するあたって、労働者からの継続的な意見や教育が不可欠になります。

ISO 45001および 労働安全衛生のILOガイドライン等の認められた管理システムは、規範の作成にあたって参考とされ、また追加情報の情報源として有用となります。

労働安全

労働者が潜在的な安全上の危険（電気その他のエネルギー源、火災、車両、落下の危険等）にさらされる場合、適切な設計、技術、行政管理、予防保全、安全作業手順（ロックアウト/タグアウトを含む）および継続的な安全訓練を通じて管理されなければなりません。これらの手順によって適切に管理できない危険については、適切に整備された個人用保護具およびこれらの危険に関連する教材を労働者に提供しなければなりません。労働者は、安全に関する懸念を申し出るよう推奨されています。

緊急事態への備え

潜在的な緊急事態および事象の特定、評価、緊急時計画および対応手順（緊急時の報告、従業員への通知および避難手順、従業員のトレーニングおよび訓練、適切な火災検知および消火設備、適切な避難設備、復旧計画等）を実施することにより、その影響を最小限に抑えなければなりません。このような計画および手順は、生命、環境、および財産への危害を最小限に抑えることに重点を置くものとします。

労働
安全衛生
環境
倫理
管理システム
リテルヒューズ倫理ヘルプライン

業務上の傷害および疾病

業務上の傷害および疾病を防止、管理、追跡および報告をする目的とする手順およびシステムを導入しなくてはならなく、これには、労働者の報告の推奨、傷害および疾病の事例の分類および記録、必要な治療の提供、事例の調査を行い、原因を取り除くための是正措置の実施および労働者の職場復帰に関する規定が含まれます。

身体的に厳しい作業

手作業による資材の運搬、重い荷物の持ち上げ、長時間の立ち仕事、頻繁に反復または強い力を要する組み立て作業等、身体的負荷のかかる作業の危険性に対する労働者の曝露は、特定、評価、管理されなければなりません。

機械の保護

生産機械およびその他の機械は、安全上の危険性について評価されなければなりません。機械が労働者に傷害の危険を及ぼす場合、物理的な保護装置、インターロック、柵を設けて、適切に維持されなくてはなりません。

公衆衛生、食事および住居

サプライヤーは、清潔なトイレ設備、飲料水、衛生的な食品の調理、保管、食事施設を労働者が即時に利用できるよう供給するものとします。サプライヤーまたは労働斡旋業者が提供する労働者用の寮は、清潔かつ安全性が保たれ、適切な非常口、入浴およびシャワー用の温水、適切な暖房および換気、出入りの権利とともに合理的な個人スペースがなくてはなりません。

安全衛生に関するコミュニケーション

サプライヤーは、適切な職場の安全衛生に関する研修を労働者の母国語で行うものとします。安全衛生関連情報は、施設内に明確に掲示するものとします。

薬物のない職場

弊社は、サプライヤーが違法薬物のない職場を維持するものとします。そのような職場では、規制薬物や違法薬物の違法な使用、所持、販売、流通を阻止しなくてはなりません。

産業衛生

化学物質、生物学的作用物質、物理的物質に対する労働者の暴露は、特定、評価、管理されなければなません。過度な曝露を抑制するために、工学的または行政的な管理を行わなければなりません。このような手段によって、危険を十分に管理できない場合、適切な個人用保護具プログラムによって労働者の健康を保護しなければなりません。

労働
安全衛生
環境
倫理
管理システム
リテルヒューズ倫理ヘルプライン

環境

弊社は、サプライヤーが人体や環境への危険を回避し、環境への影響を最小限に抑え、資源を経済的に利用する方法で事業を行うものとします。環境に対する責任は、国際的レベルの製品を製造する上で不可欠になります。製造業務においては、公衆の安全衛生を守りつつ、地域社会、環境および天然資源への悪影響を最小限に抑える必要があります。

ISO14001および環境管理監査制度(EMAS)等の認められた管理システムは、規範の作成にあたって参考とされ、また追加情報の情報源として有用となります。

弊社は、以下の環境に関する具体的な方針を支持します：

環境上の許可および報告

必要な環境上の許可（排出の監視等）、承認、登録を全て取得、維持、最新に保たなければならず、また関連する全ての運営および報告要件に従わなければなりません。これらの環境上の許可および報告義務には、現地の法律で義務付けられている土壌の質、大気汚染、水質汚染、廃棄物管理に関する必要な監視に含まれていますが、これらに限定されるものではありません。

汚染防止および資源削減

水およびエネルギーを含むあらゆる種類の資源の使用および廃棄物の発生は、発生源において、または生産、維持、施設プロセスの変更、材料の代替、保全、リサイクル、材料の再利用などの実践によって、削減または排除されなければなりません。

労働
安全衛生
環境
倫理
管理システム
リテルヒューズ倫理ヘルプライン

生物多様性、土地利用、森林破壊

リテルヒューズは、生物多様性の価値と、自然の生息地としての土地および森林の重要性を認識しています。サプライヤーは、その事業が生態系におよぶ影響に対する評価を行い、その行動が森林破壊の一因、生物多様性へのリスクとならないように利害関係者と協力するものとします。

有害物質

環境に放出された場合に危険をもたらす化学物質およびその他物質については、特定し、安全な取り扱い、輸送、保管、使用、リサイクルまたは再利用、廃棄を確実に実施するように管理すること。

大気放出

業務から発生する揮発性有機物質、エアロゾル、腐食剤、微粒子、オゾン層破壊化学物質、燃焼副生成物の大気放出は、放出前に特性評価を行い、定期的に監視、管理、また必要に応じて処理を行うこととします。サプライヤーは、大気放出制御システムの性能の定期的なモニタリングを実施するものとします。

廃水および固形廃棄物

サプライヤーは、固形廃棄物(非危険物)を特定、管理、削減、および責任を持って処分またはリサイクルするため の体系的なアプローチを実施するものとします。運用、産業プロセス、および衛生設備から発生する廃水は、廃水または廃棄する前に、特徴付け、監視、管理、および必要に応じて処理されなければなりません。さらに、廃水の発生を削減するための対策を行うものとします。サプライヤーは、廃水処理システムの性能について定期的なモニタリングを実施するものとします。

労働
安全衛生
環境
倫理
管理システム
リテルヒューズ倫理ヘルプライン

材料の制限

サプライヤーは、製品および製造における特定物質の禁止または制限に関して、適用される全ての法律、規制、および顧客の要求事項を遵守するものとし、それにはリサイクルや廃棄に関するラベリングも含まれます。

雨水管理

サプライヤーは、雨水流出による汚染を防止することを目的として体系的なアプローチを実施するものと します。サプライヤーは、雨水排水管への違法な排水および流出を防止するものとします。

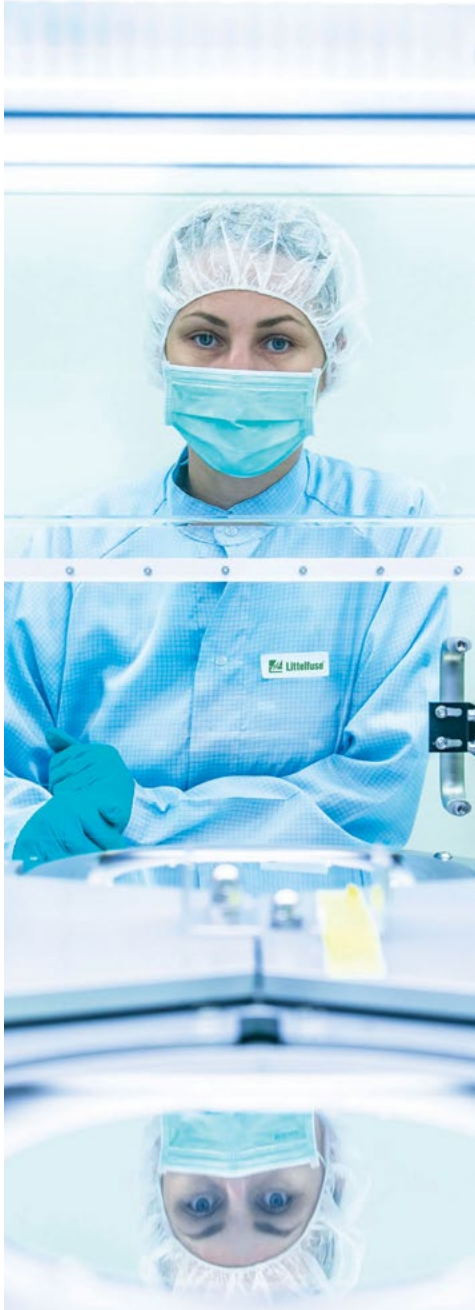
エネルギー消費および温室効果ガスの排出

エネルギー消費と温室効果ガス排出は、施設および/または企業側で追跡し、文書化することとします。サプライヤーは、エネルギー効率を改善し、エネルギー消費と温室効果ガス排出を最小限に抑えることを目的として費用対効果の高い方法を模索するものとします。

労働
安全衛生
環境
倫理
管理システム
リテルヒューズ倫理ヘルプライン

倫理

リテルヒューズのサプライヤーには、倫理的な方法で事業を行い、誠実に行動するものとします。弊社では、以下の倫理原則を支持します：



事業の誠実性

全ての事業における取引対して、最高水準の誠実さを維持すること。サプライヤーは、あらゆる形態の贈収賄、汚職、恐喝、マネーロンダリング、横領に関して、ゼロ・トレランス方針を支持するものとします。リテルヒューズの代理取引を含む全ての取引は、透明性をもって行われ、サプライヤーの帳簿および記録に正確に反映されるものとします。確実な腐敗防止法の遵守をすることを目的として、監視および執行手続きが実施されるものとします。

不当な利益の禁止

賄賂または不当もしくは不適切な利益を得るための、約束、提供、許可、贈与、または受領してはなりません。この禁止事項には、ビジネスを獲得または維持するため、ビジネスを誰かに指示するため、または不正な利益を得るために、直接または第三者を通じて間接的に価値のあるものを約束、提供、許可、贈与、または受領することも含まれます。

情報の開示

サプライヤーの労働、安全衛生、環境慣行、事業活動、構成、財務状況、および業績に関する情報は、適用される規制および一般的な業界慣行に従って開示されます。記録の改ざんや、サプライチェーンにおける条件や慣行の虚偽表示は認められません。

資産の保護

サプライヤーは、リテルヒューズの全ての資産を保全、保護、責任を持って使用するものとします。これは、弊社のブランド、技術、ビジネス情報および知的資本等の有形および無形の資産を含みます。

知的財産

知的財産権は尊重され、技術およびノウハウの譲渡は知的財産権を保護する方法で行われ、顧客情報は保護されなければなりません。

労働
安全衛生
環境
倫理
管理システム
リテルヒューズ倫理ヘルプライン

公平な事業、広告および競合

公正な事業、広告、競合の基準を守るものとします。顧客情報を保護することを目的とする適切な手段が利用可能でなければなりません。

贈呈品

ビジネス上の贈答品、便宜、接待は、健全かつ客観的なビジネス関係の遂行を妨げる可能性があります。いかなる状況においても、リテルヒューズの社員が何らかの業務行為を不正に遂行するよう不適切に誘引していると合理的に解釈されるような支出や支払いは行ってはなりません。リテルヒューズでは、いかなる形態の賄賂または見返りの申し出、贈与、要求、または受領も固く禁じています。

独占禁止法

サプライヤーは、有効かつ適用可能な競争法および独占禁止法を遵守する必要があります。これには、競合他社、サプライヤー、顧客、またはその他の第三者との反競合的な合意の締結、不適切な競合情報の交換、価格操作、入札談合、または不適切な市場割り当てなどの商慣習を避けることが含まれています。

地域社会の尊重

サプライヤーは、住民、地域社会、先住民族の土地、森林、水源に対する権利を尊重し、これらの資源の不法な立ち退きや剥奪に関与しないことを約束します。マイノリティグループは、その社会的地位に関わらず、平等かつ尊重されるものとします。

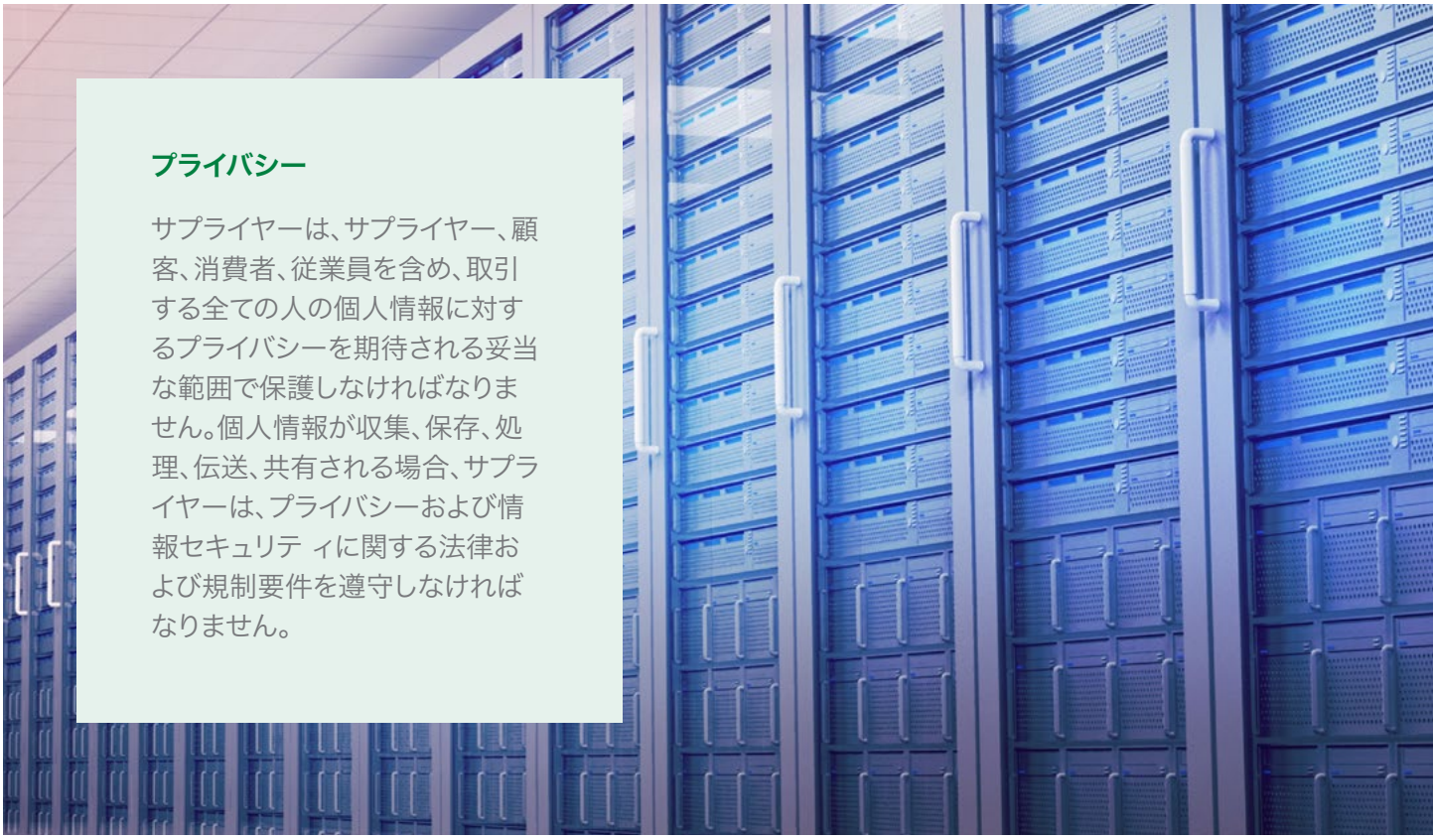
労働
安全衛生
環境
倫理
管理システム
リテルヒューズ倫理ヘルプライン

輸出入の規制

サプライヤーは、物品およびサービスの輸出入に際して、有効かつ適用される全ての法律を遵守しなければなりません。サプライヤーは、事業を行うあらゆる国の貿易法および規制を確実に遵守する責任があります。

報告および報復の禁止

サプライヤーは、報復を恐れることなく、法的または倫理的な懸念を提起できるプロセスを従業員に提供しなくてはなりません。



プライバシー

サプライヤーは、サプライヤー、顧客、消費者、従業員を含め、取引する全ての人の個人情報に対するプライバシーを期待される妥当な範囲で保護しなければなりません。個人情報が収集、保存、処理、伝送、共有される場合、サプライヤーは、プライバシーおよび情報セキュリテ ィに関する法律および規制要件を遵守しなければなりません。

多様性

リテルヒューズが、商品やサービスを購入するサプライヤーでの多様性は重要です。そのため、サプライヤーは、多様かつ持続可能な第三者ネットワークから商品やサービスを購入するよう誠意をもって努力するものとします。

労働
安全衛生
環境
倫理
管理システム
リテルヒューズ倫理ヘルプライン

偽造品

サプライヤーは、納品される製品に偽造品や材料が混入されるリスクを最小限に抑えるため、製品およびサービスに適した効果的な方法およびプロセスを開発、実施、維持するものとします。さらに、サプライヤーは、正当な理由がある場合、受領者に偽造品の通知を行い、流通から取り除くものとします。

利益相反

サプライヤーは、利益相反を引き起こす可能性のある意思決定に関与、または影響を与えてはなりません。

以下が、潜在的な利益相反の例として含まれますが、これらに限定されるものではありません：

- リテルヒューズ社員またはリテルヒューズ社員の家族に対し、所有権を直接提供または提供すること
- リテルヒューズの役職の範囲外の業務にリテルヒューズの従業員を従事させること
- リテルヒューズとの関係を通じて知り得た、リテルヒューズが所有するビジネスチャンスを利用すること
- リテルヒューズとの関係を通じて知り得たビジネスチャンスに関する情報を他者に提供すること
- ビジネス上の意思決定に不適切な影響を与えようとする贈り物や接待を提供すること
- サプライヤーが実際、または潜在的な利益相反に気づいた場合は、倫理ヘルプラインを通じてリテルヒューズに直ちに通知する必要があります。

労働
安全衛生
環境
倫理
管理システム
リテルヒューズ倫理ヘルプライン

管理システム

リテルヒューズのサプライヤーは、本規範の内容に関連する管理システムを採用または確立するもののとします。

管理システムは、以下のことを保証することを目的として設計されるものとします。(a)サプライヤーの業務および製品に関連する適用法、規制および顧客の要求事項の遵守、(b) 本規範の準拠、および (c) 本規範に関連する業務リスクの特定と軽減。また、継続的な改善を円滑に進めなくてはなりません。

管理システムには、以下で構成されていなければなりません：

会社の誓約

サプライヤーのコンプライアンスおよび継続的改善に対する取り組みに賛同する会社の社会的および環境的責任に関する方針の声名であり、経営幹部によって承認がされ、現地の言語を用いて施設内に掲示されます。

経営に対するアカウンタビリティーおよび責任

管理システムおよび関連プログラムに対する、確実な実施に対して責任を持つ上級管理者および会社代表者を明確に特定。上級管理者は、管理システムの状況を定期的にレビューするものとする。

法的および顧客要求事項

本規範の要求事項を含め、適用される法律、規制、顧客要求事項を特定、監視、理解するプロセス。

労働
安全衛生
環境
倫理
管理システム
リテルヒューズ倫理ヘルプライン

リスク評価およびリスク管理

サプライヤーの運営に関連する法令遵守、環境、安全衛生、労働慣行、倫理リスクを特定するプロセス。各リスクに対して相対的な重要性を決定し、特定されたリスクを管理し、法令遵守を確保するために、適切な手続きおよび物理的管理の実施。

環境、健康、安全に関するリスク評価に含まれるエリアは、生産エリア、倉庫および貯蔵施設、工場/施設支援設備、研究室および試験場、衛生施設（浴室）、厨房/食堂、労働者の住居/寮になります。

改善目標

サプライヤーの社会的および環境的なパフォーマンスを改善することを目的とした文面化されたパフォーマンス目標、ターゲットおよび実施計画であり、これらの目標達成におけるサプライヤーの定期的な評価が含まれます。

イノベーション

テクノロジーと顧客インサイトを活用し、製品性能を向上させ、製品寿命を延ばすための製造を促進し、現場の生産性、安全性、効率性を高めます。

コミュニケーション

サプライヤーの方針、慣行、期待およびパフォーマンスに関して、明確で正確な情報を労働者、サプライヤーおよび顧客に対して伝えるプロセス。

研修

サプライヤーの方針、手順、改善目標を実施し、適用される法的および規制的要件を満たすことを目的とする管理者および労働者に向けた研修プログラム。全ての労働者は、自らの権利および責任を理解できるようにいつでもサプライヤー行動規範にアクセスできなくてはなりません。

労働
安全衛生
環境
倫理
管理システム
リテルヒューズ倫理ヘルプライン

労働者のフィードバックおよび参加

本規範の対象となる慣行や条件に対する従業員の理解を評価し、フィードバックを得て、継続的改善を促進するための継続的なプロセス。

監査および評価

法的および規制的要件、本規範の内容および社会的および環境的責任に関連する顧客との契約要件への準拠を確認することを目的とする定期的な自己評価。

是正措置プロセス

内部または外部の評価、検査、調査、監査およびレビューによって特定された不備を適時に是正することを目的とするプロセス。

文書化および記録

プライバシーを保護するための適切な守秘義務とともに、法規制の遵守と会社の要求事項への適合性を確保することを目的とする文書および記録の作成と保持。

サプライヤーの責任

規範の要件をサプライヤーに伝達し、サプライヤーが規範を遵守していることを監視するプロセス。

労働
安全衛生
環境
倫理
管理システム
リテルヒューズ倫理ヘルプライン

リテルヒューズ倫理ヘルプライン

お客様およびサプライヤーとの関係構築の基盤となるのが誠実さであるため、弊社の誠実さを損なう可能性のある行為があった場合、サプライヤーが、弊社の法務チームに警告するリソースを十分に周知していることを確実なものにしたいです。

サプライヤーが、リテルヒューズの倫理ヘルプラインに連絡する際、利用できるオプションは、以下の通りです。リテルヒューズの倫理ヘルプラインへの問い合わせ内容および報告は機密扱いとなります。

リテルヒューズ倫理ヘルプライン

サプライヤーは、リテルヒューズの倫理ヘルプラインに対して、法律、規則、またはポリシーに違反する可能性がある懸念を報告することができます。倫理ヘルプラインは、オンラインおよび電話にて、10 ヶ国語以上に対応し、24 時間年中無休で受け付けています。倫理ヘルプラインに連絡する際、サプライヤーは匿名を希望することが可能です。

私たち一人一人には、当社の価値観や法律に違反するような状況に気づいた場合、それを報告する責任があります。潜在的な倫理的問題を浮き彫りにし、リテルヒューズが全ての行動において誠実に価値を守ることができるよう、弊社にご協力いただきますようお願いいたします。

倫理ヘルプラインへの連絡方法は以下の3つになります：

1. ウェブサイト

littelfuse.ethicspoint.com.
からの報告。

2. 電話

独立した第三者管理の電話回線を使用して 800-803-4135 に電話して報告（米国内）。世界各地のフリーダイヤルのリストは、上記のウェブサイトでご覧いただけます。

3. QRコード

下記のスキャンを行い、オンライン上から報告。

改定版の履歴: 本規範は、2022年7月29日付のサプライヤー行動規範の改定版になります。

Littelfuse®